

絶えぬ挑戦をこれからも

トップの素顔

vol.

8

フクビ化学工業株式会社
代表取締役会長CEO

やぎ
八木 誠一郎氏



【プロフィール】

昭和34年生まれ。ポートランド州立大学科学部卒業。早稲田大学大学院公共経営修士修了。
昭和60年フクビ化学工業入社、平成14年同代表取締役社長就任、令和6年代表取締役会長CEO就任。
令和3年6月より福井商工会議所会頭に就任。その他、(一社)福井県商工会議所連合会会頭、福井県経済団体連合会会長、(公財)福井県文化振興事業団理事長など多くの公職を務める。

【会社概要】

設立：昭和28年 本社所在地：福井市三十八社町33-66
電話：0776-38-8001 従業員：981名（連結）

普段、垣間見ることが出来ない福井商工会議所の議員の素顔を探る「トップの素顔」。今回はフクビ化学工業(株)代表取締役会長CEOの八木誠一郎氏にお話を伺いました。

商家の厳しさを学びながら様々なスポーツに打ち込んだ学生時代

明治28年に八木熊商店が創業。三代目八木熊吉を襲名した父を持つ商家の長男として誕生しました。幼少期より父からは「会社の一大事には、家を売却してでもお客様や社員を守らないといけないのだから、我が家であっても決して傷をつけてはいけない」と、常に商売の厳しさを教え込まれ、また、商人の心意気や素養を身につけさせられました。

小学校4年生の頃、姉が弾くピアノに憧れ、習いたいと相談したところ、「男は柔道だ」と父に有無を言わずに決められてしまいました。祖父が福井県内で初の柔道4段を取得した柔道家であったことから、それを知る方達

からの熱心な指導を受け、福井市の大会で優勝する実力を身に付けるまでになりました。

小学6年生の時、アメリカからバスケットボールの興行がありエキシビジョンでプレーに参加したことがきっかけで柔道への情熱は一気に冷め、中学ではバスケットに入部。「中学生は丸坊主だ」という父の厳命もあり、皆が髪を伸ばすなか一人丸坊主頭で大いに目立ちながら、左利きという強みを活かして大活躍しました。高校進学時には地元強豪校からスカウトがきたほどでしたが、「東京で学びたい」という思いと、「若い時に東京へ行つて様々な経験をした方がよい」という父の考えに後押しされ、早稲田実業高校へ進学しました。

入学してまもなく、バスケット部に入学しようとしたが当時の早稲田実業は都内でも屈指のバスケット名校で実力の差を見せつけられ全く歯が立ちませんでした。そこで気持ちを切り替え、当時人気だったブルース・リーに影響を受けたこともあり、少林寺拳法に挑戦。懸命に厳しい稽古に励んだことが幸いして、全国大会に3年連続で出場するまでに上達できたことは良い思い出です。

アメリカでの大学生活

高校卒業後は早稲田大学に進学。

日々の学びの中で英語の重要性を感じ国際学部への教授からの薦めもあり渡米を決意しました。父からは「行くなら何事も中途半端にならないよう、けじめをつけるように」と言われ、熟考した結果、早稲田大学を退学して、ポータランド州立大学に編入しました。

当時アメリカでは禅ブームが起きていました。私が日本人で福井出身であるとかと質問攻めに合うことも多く、そこで自分が彼らにとつてのスポーツスマンになっていることに気づき、慌てて家に連絡し、永平寺や日本の歴史についての書物を送ってもらいました。思い返せばあの時が一番、日本を、福井を、禅を学んだ時だと思えます。

我が家では、留学先から仕送りなど何かをお願いする時は、「直筆で正しい文章で父宛に依頼する」という独特のルールがありました。当時は本当に面倒で嫌で仕方ありませんでしたが、今思えば、相手に気持ちを伝える言葉や文章の書き方など、一つ一つが親の愛情からなる教えであり、時空を超えて商人としての心得を学ぶことができた

たと改めて感じているところです。

家業の継承と困難に立ち向かう

大学卒業後は帰国して社会人としての研鑽を積みながら31歳で福井に戻り、フクビ化学工業に入社。平成14年にフクビ化学工業(株)の社長に就任しました。しかしながら、その道は決して順風満帆ではありませんでした。

平成20年頃には原材料料費の高騰による営業利益減少や政権交代による環境政策転換といった苦境に直面しました。そのような中にあつても環境問題は我が会社の最重要課題であると捉えて、非化石由来の原材料を活用した製品開発に挑戦し続けました。その実現に向けて早稲田大学大学院でCSR(企業の社会的責任)を学び、新たなビジネスの方向性を見いだします。木材の粉末の活用に着目して、行政と連携したバイオマス工場を設立するなど、革新的な取り組みを行い、会社の成長と社会的意義を両立する事業展開を実現しました。

健康な身体づくりも

社会人としての務め

現在日々のルーティンとして取り組むのが、朝4時からのウォーキングで

す。社員に健康の重要性を説く中で、自身が出来ているのかと自問し、健康に気を遣うようになりました。早朝にウォーキングを行うことで夜の就寝が早まり、飲酒の量も減りました。20年以上続けるこのルーティンが現在の健康な体を作り上げています。また、学生時代からフォークソングが好きで経営者仲間からの誘いもあつて、年に数回はギターを弾いたりもしています。

これからも人とのつながりに重点を置いて

昨年、フクビ化学工業(株)の社長職を森克則氏に譲り、会長CEOに就任しました。経営、経済、政治など様々な環境変化があつた平成の時代を企業のトップとして駆け抜けてきましたが、これからの新時代、今まで同様のやり方は通用しないと考え、代表者の交代も企業としての大きなチャレンジだと新体制に期待を寄せています。

学生時代や、企業経営者、JC、商工会議所会頭職を通じて様々な人と出会ってきました。福井には志を同じくする多くの仲間がいます。誰かが上に立つのではなく、皆で同じ方向を見る『チーム福井』の仲間として未来の福井を作っていきたいと、改めて強く感じています。